

財団法人日本医療機能評価機構 認定病院患者安全推進協議会 平成19年度 患者安全推進全体フォーラム 開催のご案内

下記のとおり、平成19年度 患者安全推進全体フォーラムを開催し、当協議会の活動の現況をご報告するとともに、現在医療現場で喫緊の課題・関心事となっている2つのトピックスについてのシンポジウムを開催いたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時：平成20年3月1日（土） 9:25～17:35

場所：東京ビッグサイト 7F 国際会議場

定員：約1,000名

参加費：会員以外は1名につき5,000円、当協議会会員病院は無料（3名のみ）

プログラム概要（案）： 詳細は別紙プログラム（案）をご参照下さい

（9:25開始）

I. 全体フォーラム 午前の部 9:30～12:45

テーマ：医療安全管理者のキャリア・パス
— 一個人のキャリア形成と組織の人材マネジメント —

座長：九州大学大学院医学研究院 医療経営・管理学講座 准教授 鮎澤純子

1. 基調講演 自律的キャリア形成の実際と組織の支援 高橋俊介
2. 医療安全管理者のキャリアを活かして 釜 英介
3. 医療安全のプロフェッショナルとして 遊道桂子
4. 病院管理者に求められる人材マネジメント 永井良三
5. パネルディスカッション

II. 会務報告 患者安全推進協議会活動の現況について 13:30～14:00

III. 全体フォーラム 午後の部 14:00～17:30

テーマ：事故発生時にトップ・マネジメントが果たす役割

座長：公立陶生病院 救急部集中治療室 第二部長 長谷川隆一

1. 基調講演 病院におけるトップ・マネジメントの発揮とその効果 高瀬浩造
2. 星総合病院におけるトップ・マネジメントの実際 星 北斗
3. 野村病院におけるトップ・マネジメントの実際 野村幸史
4. 弁護士からみた事故発生時の医療機関におけるリスクマネジメント 大平雅之
5. パネルディスカッション

（17:35終了予定）

参加申込方法

当協議会会員、一般（会員外）とも、

当協議会ホームページにて

参加申込み受付中です。

⇒ <http://www.psp.jcqh.or.jp/psp/>

受講証明書

参加者には後日、受講証明書を発行する予定です。

<input type="checkbox"/>	医療安全のための組織的な取組
<input type="checkbox"/>	医療事故発生時の対応
<input type="checkbox"/>	意識の向上

研修時間：7時間

会場へのアクセス

- りんかい線「国際展示場」駅下車徒歩約7分
大崎駅(JR)←13分[大人320円]→国際展示場駅
※大崎から新宿・大宮方面へ、JR埼京線相互直通運転。
渋谷(約20分)、新宿(約25分)、大宮(約56分)
- ゆりかもめ「国際展示場正門」駅下車徒歩約3分
新橋駅(JR、東京メトロ、都営地下鉄)←22分[大人370円]→国際展示場正門駅

- 空港バス（リムジンバス・京急バス）
羽田空港←約25分[大人600円]→東京ビッグサイト

詳細は、下記URL（東京ビッグサイト 交通アクセス）を御確認ください。

URL：<http://www.bigsight.jp/general/access/>

財団法人日本医療機能評価機構 認定病院患者安全推進協議会
平成 19 年度 患者安全推進全体フォーラム プログラム (案)

日時 : 平成 20 年 3 月 1 日 (土) 9:25~17:35
場所 : 東京ビッグサイト 7F 国際会議場

(9:25 開始)

開会の挨拶

財団法人日本医療機能評価機構 理事 大道 久

I. 全体フォーラム 午前の部 9:30~12:45

テーマ: 医療安全管理者のキャリア・パス

— 一個人のキャリア形成と組織の人材マネジメント —

座長: 九州大学大学院医学研究院 医療経営・管理学講座 准教授 鮎澤純子

1. 基調講演 自律的キャリア形成の実際と組織の支援 9:30~11:00 (90分)
慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 教授 高橋俊介
2. 医療安全管理者のキャリアを活かして 11:00~11:20 (20分)
東京都保健医療公社荏原病院 看護部 看護科長 釜 英介
3. 医療安全のプロフェッショナルとして 11:20~11:40 (20分)
尼崎医療生活協同組合尼崎医療生協病院 安全管理室室長 遊道桂子
4. 病院管理者に求められる人材マネジメント 11:40~12:10 (30分)
東京大学 医学系研究科 循環器内科学 教授 永井良三
5. パネルディスカッション 12:10~12:45 (35分)

昼休憩 12:45~13:30

II. 会務報告 患者安全推進協議会活動の現況について 13:30~14:00

座長: 横浜市立大学附属病院 医療安全管理学 教授 橋本廸生

発表: 財団法人日本医療機能評価機構 理事 大道 久

III. 全体フォーラム 午後の部 14:00~17:30

テーマ: 事故発生時にトップ・マネジメントが果たす役割

座長: 公立陶生病院 救急部集中治療室 第二部長 長谷川隆一

1. 基調講演 病院におけるトップ・マネジメントの発揮とその効果 14:00~15:15 (75分)
東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 医療政策学講座 教授
東京医科歯科大学医学部附属病院 病院長補佐 高瀬浩造
2. 星総合病院におけるトップ・マネジメントの実際 15:15~15:45 (30分)
財団法人星総合病院 副理事長 星 北斗
3. 野村病院におけるトップ・マネジメントの実際 15:45~16:15 (30分)
医療法人財団慈生会野村病院 理事長・院長 野村幸史
4. 弁護士からみた事故発生時の医療機関におけるリスクマネジメント 16:15~16:45 (30分)
仁邦法律事務所 弁護士
慶應義塾大学医学部神経内科 助教 大平雅之
5. パネルディスカッション 16:45~17:30 (45分)

閉会の挨拶

横浜市立大学附属病院 医療安全管理学 教授 橋本廸生

(17:35 終了予定)

財団法人日本医療機能評価機構 認定病院患者安全推進協議会 平成19年度 患者安全推進全体フォーラム 開催要綱 (案)

I. 午前の部

医療安全管理者のキャリア・パス — 個人のキャリア形成と組織の人材マネジメント —

9:30~12:45

医療安全管理者については、平成15年に特定機能病院で配置が義務化された後、平成18年に診療報酬加算が認められ、平成19年3月には国により一定の業務指針も示されたが、経験者がその後どのようなキャリアを形成し、また組織内で活用されているかは明らかでない。医療安全管理者は、病院トップと連携し、内外の人材と活発に交流するなどの貴重な経験を活かして、その後、どのようなキャリアを切り開いているのか、また切り開くことができるのか。病院管理者らは、組織の視点から彼/彼女らをどのように支援し活用できるのか、その効果は。人材マネジメントの第一人者および医療安全管理者・病院管理者の経験を有する各氏とともに、医療安全管理者のキャリア・パスと組織の人材マネジメントを考える。

座長： 鮎澤純子



1. 自律的キャリア形成の実際と組織の支援

経営環境の変化が激しい現代においては、個人の幸せなキャリア実現のためにも、経営の視点からも、自律的キャリア形成が必要である。自律的キャリア形成とはどのようなものか。また、組織はそれをどう支援すべきか。



高橋俊介

2. 医療安全管理者のキャリアを活かして

都立病院初の専門看護師であり医療安全管理者経験者として、看護部のマネジメントに携わる立場から、医療安全管理者としての経験をどのように受け止め、現在の仕事に活かしているか。経験を通じて新たに発見・向上した能力は何か。



釜 英介

3. 医療安全のプロフェッショナルとして

2006年、薬剤科科長から医療安全管理者となり、薬剤師の専門性や特性を活かしながら、薬剤師の守備範囲を超えて医療安全に取り組んでいる立場から、医療安全管理者の任務を通じて培われるべき能力や今後の展望について。



遊道桂子

4. 病院管理者に求められる人材マネジメント

病院長として病院改革と医療安全を推進してきた立場から、病院管理者は、医療安全管理者の自律的な活動とパフォーマンス向上のためにどのような支援ができるのか、それが組織にもたらす効果などについて。



永井良三

II. 会務報告

患者安全推進協議会活動の現況について

13:30~14:00

座長： 横浜市立大学附属病院 医療安全管理学 教授 橋本 廸生
発表： 財団法人日本医療機能評価機構 理事 大道 久

教授 橋本 廸生
理事 大道 久

III. 午後の部

事故発生時にトップ・マネジメントが果たす役割

14:00~17:30

医療は不確実性を内包しており、医療事故はどの病院でも発生しうる。同じような医療事故が発生しても、病院の対応によって患者・社会との信頼関係の行方は大きく異なる。医療事故発生時、病院トップは具体的にどのように考え、決断し、行動すべきか。有事にトップ・マネジメントが発揮されるために、日頃から準備しておくべきことは何か。病院が提供する医療の質を、適正に患者・社会に理解してもらうために不可欠なトップ・マネジメントの発揮について、学識経験者、病院管理者、病院側代理人とともに検討する。

座長： 長谷川隆一



1. 病院のトップ・マネジメントの発揮とその効果

他産業に比べトップ・マネジメントの概念が希薄であった大学病院に対してマネジメント改革を提言した立場から、トップ・マネジメントの必要性と効果、その発揮に向けた組織づくりと情報マネジメントについて。



高瀬浩造

2. 星総合病院におけるトップ・マネジメントの実際

福島県郡山市にある一般480床の病院のトップとして、事故発生時にどのようにトップ・マネジメントを発揮しこれを取り越え、患者・社会の信頼を得ているか。トップの迅速でぶれない判断を支える理念と組織について。



星 北斗

3. 野村病院におけるトップ・マネジメントの実際

東京都三鷹市にある、一般81床、回復期リハビリテーション病棟36床の病院のトップとして、日々の業務や医療事故対応にトップ・マネジメントを発揮し、患者や社会からの信頼・評価を得ているのか。



野村幸史

4. 弁護士からみた事故発生時の医療機関におけるリスクマネジメント

医療事故発生時に病院およびトップ・マネジメントが患者・社会から求められている対応はどのようなものか。病院側代理人弁護士として病院の医療事故対応に接する中で得た問題意識に基づく、病院トップ、医療安全管理者、担当医らへの助言など。



大平雅之